



《第 71 号》
Newsletter of Japan Society for Twin Studies
2022 年 1 月発行

目 次

- ・ 日本双生児研究学会第 36 回学術講演会
プログラムのご案内 2022 年 1 月 22 日 (土) 開催
 - ・ 幹事会 報告
 - ・ 日本双生児研究学会編集委員会規程
 - ・ 学会事務局よりお知らせ
 - ・ 会員用メーリングリスト運用のご案内
- 編集後記

会員募集のお知らせ

入会を希望される方は郵便振替用紙に口座番号 (00910-2-253840)、加入者名 (日本双生児研究学会) をご記入の上、年会費 (3,000 円) をご送金下さい。また、通信欄に所属・所属の住所・電話番号・FAX 番号・E-mail 等をお書き添え下さい。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-7 大阪大学大学院医学系研究科

附属ツインリサーチセンター内 日本双生児研究学会事務局 (渡邊幹夫)

学会ホームページアドレス <https://jsts.jp.net/>



<日本双生児研究学会 第36回学術講演会のご案内>

大会長 松葉敬文（岐阜聖徳学園大学）

1. 日程、開催方法、大会長、事務局

- 1) テーマ Twins in the New Normal （ニューノーマルな社会と双子）
- 2) 日程 2022年1月22日（土）9時25分～17時00分
（9:10から入室開始、9:20分から進行説明と挨拶）
- 3) 開催方法 Zoomによるリアルタイムの口頭発表（一部、録画発表あり）
※ 社会的な状況を考慮し、対面・オンライン併用型からオンライン型に変更になりました。
- 4) 大会長・事務局 松葉敬文（岐阜聖徳学園大学）・第36回大会運営事務局
問合せ先 tmatsuba@gifu.shotoku.ac.jp
大会当日の事務局電話番号 058-278-0737（大会当日のみ利用可）

2. 参加資格および参加費

- 1) 日本双生児研究学会会員の他、非会員、学生も参加できます。
- 2) 大会参加費 3,000円（参加者の立場によらず通信運営費として）
参加費は1月7日から1月22日の間に、下記のアドレスからpaypalでお支払いください。
<https://jamba.or.jp/paypal.php>（JpMBAのサーバをお借りしています。）
- 3) 参加費のお支払い後、大会用のZoomアドレス・ミーティングID・パスコードが、登録されたアドレスに送付されます。（7日以前は画面表示は出ますが、入金処理が出来ません。）

3. 実施要項

- ★ Zoomを用いたオンライン会議です。入口は参加費支払い後のメールをご参照ください。
- ★ 発表者はZoomの「共有機能」で発表用スライドを各自呈示して、口頭発表してください。
録画動画を用いることも可としますが、質疑はリアルタイムで行ってください。
- ★ 報告者の方は発表時間について、プログラム最終ページをご参照ください。
- ★ 発表の動画は録画し、原則として一定期間公開します。編集後、公開開始時にはメーリングリストでお知らせします。
- ★ 録画動画の公開アドレスについては、大会当日までに参加費を支払われた方にメールでお知らせします。
- ★ 当日の質疑は原則としてZoomのチャット機能と、後日に報告者に回答を求めるgoogle-formsで受け付けます。（<https://forms.gle/jQZpTLJnaSKhiMgc6>）
※ 報告者から回答があった場合、参加者用のHPで回答を公開します。

<報告者の学会会員登録のお願い>

主報告者の方は、日本双生児研究学会の会員であることが求められています。会員登録をされていない方は、学会HPをご参照の上、会員登録を発表当日までにお済ませ下さい。

プログラム

大会運営は三回線で行います。会場となる回線にご注意ください。

(本大会の録画・スクリーンショットはご遠慮ください。)

| | Room1 | Room2 | Room3 |
|---------------|--|-----------------------------|--|
| 09:20 ~ 09:25 | 開会の挨拶 (Room1) | | |
| 09:25 ~ 09:55 | 特別招待口演 (Room1) | | |
| | 司会進行：安藤寿康 (慶應義塾大学) 演者：Nancy L. Segal (California State University, Fullerton, California, USA) | | |
| 09:55 ~ 10:00 | (休憩時間) | | |
| 10:00 ~ 10:50 | 口演 A 群 多胎による遺伝研究 (1) | 教育講演 1 行政・医療と多胎支援 | 招待ワークショップ* 1 TTTS 類縁疾患 |
| | 演者： 安藤寿康、辻林もも、中谷香江 | 演者： 小林秀幸、加藤直実・神谷ともみ、山田崇春 | 演者： Stephanie Ernst、小澤克典 |
| ~ 11:00 | | | |
| 11:00 ~ 11:10 | (休憩時間) | | |
| 11:10 ~ 12:00 | 口演 B 群 多胎による遺伝研究 (2) | 口演 C 群 多胎支援の実践例 | 招待ワークショップ* 2 多胎児の発達 |
| | 演者： 竹村優作、長谷川美佳、尾野光司 | 演者： 堀田真理、日野紗里亜、松本彩月 | 演者： 新田絵美子、Monica Rankin |
| 12:00 ~ 13:00 | (休憩時間) | | |
| 13:00 ~ 13:30 | 総会 (Room1) | | |
| 13:30 ~ 14:30 | 大会記念講演* (Room1) | | |
| | 司会進行：蔵研也 (岐阜聖徳学園大学) 演者：大平英樹 (名古屋大学大学院情報学研究科心理学講座・脳と心の研究センター) | | |
| 14:30 ~ 14:40 | (休憩時間) | | |
| 14:40 ~ 15:30 | 口演 D 群 調査研究報告 | 口演 E 群 コロナ禍の多胎支援 | 教育講演 2 多胎の周産期喪失 |
| | 演者： 畠山典子、横田秀香、松葉敬文 | 演者： 佐々木裕子、藤井美穂子 | 演者： Nicholas Embleton |
| 15:30 ~ 15:50 | (休憩時間) | | |
| 15:50 ~ 16:50 | 教育講演 3 多胎研究とその成果 | 特別シンポジウム 学会調査報告 | 教育講演 4 TAPS |
| | 演者： David Becker、Anna David | 演者： 安藤寿康、玉木譲・井ノ川早笑・藤澤啓子 | 演者： Enrico Lopriore、Jeanine van Klink |
| 16:50 ~ 17:00 | 閉会の挨拶 および 次年度大会長挨拶 (Room1) | | |

※ セッション分類右肩の*印は岐阜聖徳学園大学から後援を受けています。

【 Room 1 】

9:25~9:55

特別招聘口演

◎司会進行；安藤寿康（慶應義塾大学文学部）

(SP1;査読報告) ※口頭発表のみ（録画公開はありません）

”Unusual Behavioral Similarities in Twins Reared Apart: Genetic Effects, Random Chance or Both?”

Nancy L. Segal, Patrick Alcantara, Katherine Garcia, Kayla Garcia, Rebecka Hahnel,
Addison Linneen, Sarah Massie, Steven Nguyen, Francisca Niculae, Ana Nieto, Angela Polito,
Briana Ruff, Zahra Tahmasebi

Department of Psychology and Twin Studies Center, California State University, Fullerton,
California, USA

10:00~10:50

口演 A 群 多胎による遺伝研究（1）

(O-A1;査読報告)

『親ガチャは遺伝か、カネか、教育か-小学生から高校生までの学業成績に関する行動遺伝学的検討』

安藤寿康 慶應義塾大学文学部

(O-A2) 『アルコール摂取量と睡眠時間の遺伝相関について』

辻林もも¹・中谷香江¹・尾野光司¹・本多智佳^{2,4}・富澤理恵^{3,4}・松本大輔^{1,4}

・大阪ツインリサーチグループ・乾富士男^{1,4}

1. 畿央大学大学院 健康科学研究科
2. 滋賀医科大学 医学部
3. 大阪市立大学大学院 看護学研究科
4. 大阪大学大学院 医学系研究科 附属ツインリサーチセンター

(O-A3) 『双生児研究による自己効力感と疲労症状の遺伝的関連について』

中谷香江¹・辻林もも¹・尾野光司¹・本多智佳^{2,4}・富澤理恵^{3,4}・松本大輔^{1,4}

・大阪ツインリサーチグループ・乾富士男^{1,4}

1. 畿央大学大学院 健康科学研究科
2. 滋賀医科大学 医学部
3. 大阪市立大学大学院 看護学研究科
4. 大阪大学大学院 医学系研究科 附属ツインリサーチセンター

11:10～12:00

口演 B 群 多胎による遺伝研究 (2)

(O-B1;査読報告) "Assessment of genetic and environmental influences on the Nigrosome 1 region using MRI : A twin study of normal brain."

竹村優作^{1,2}・高橋洋人²・渡邊幹夫²・高橋正紀²・田中壽²・酒井規夫²・大阪ツインリサーチグループ²

1. 大阪大学医学部医学科
2. 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター

(O-B2;査読報告) 『一卵性双生児を対象としたアディポネクチン濃度に影響するエピゲノム因子の解析』

長谷川美佳¹・谷口純平¹・増田達郎²・上田宏達¹・大阪ツインリサーチグループ³・渡邊幹夫^{1,3}

1. 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座
2. 大阪大学 再生誘導医学協働研究所
3. 大阪大学大学院 医学系研究科 附属ツインリサーチセンター

(O-B3;査読報告) 『糖尿病多遺伝子リスクスコア (PRS) は睡眠時間に影響するか』

尾野光司¹・Evan A. Winiger²・長谷川美佳³・中谷香江¹・辻林もも¹・本多智佳^{4,6}・富澤理恵^{4,6}・松本大輔^{1,6}・渡邊幹夫^{3,6}・大阪ツインリサーチグループ・乾富士男

1. 畿央大学大学院 健康科学研究科
2. University of Colorado School of Medicine
3. 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座
4. 滋賀医科大学 医学部
5. 大阪市立大学大学院 看護学研究科
6. 大阪大学大学院 医学系研究科 附属ツインリサーチセンター

12:00～13:00 昼休憩・幹事会

13:00～13:30 総会

13:30～14:20

大会記念講演 (CL)

◎司会 蔵研也 (岐阜聖徳学園大学外国語学部)

"Emergence of emotion and decision-making based on predictive coding of interoception : Contributions of genetic and environmental factors"

大平英樹 名古屋大学大学院情報学研究科心理学講座・脳と心の研究センター 教授

14:40～15:30

口演 D 群 調査研究報告

(O-D1;査読報告) 『養育期における多胎児の親の健康状態に関する文献的考察』

畠山典子¹・横山美江¹ 大阪市立大学看護学研究科

(O-D2) 『ふたごとして育てられた青年期双生児の体験』

－平等に接しようとした親の関わりをふたご自身がどのように受けとめたか－』

横田秀香¹・長谷川和子²・鈴木朋子²・佐々木裕子²

1. 杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻
2. 杏林大学保健学部看護学科

(O-D3;査読報告) 『ツインロスによる悲嘆に関する文献調査』

松葉敬文^{1,3}・伊藤杏²・小森優奈²

1. 岐阜聖徳学園大学経済情報学部
2. 岐阜聖徳学園大学経済情報学部経済情報学科
3. 一般社団法人日本多胎支援協会

15:50~16:50

教育講演 3 多胎研究とその成果

(E3-1) “Development of a patient video to explain multiple pregnancy complications. “

Anna David EGA Institute for Women's Health, University College London, U.K.

(E3-2) Twin studies on the heritability of intelligence

David Becker Department of Psychology, Chemnitz University of Technology, German

【 Room 2 】

10:00~11:00

教育講演 1 行政・医療と多胎支援

(E1-1) 『多胎児・多胎児家庭への支援策－近年の政策動向』

小林秀幸 内閣府カジノ管理委員会事務局依存対策課
(前：厚生労働省子ども家庭局母子保健課)

(E1-2) 『愛知県における多胎家庭への支援について』

加藤直実・神谷ともみ 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課

(E1-3) 『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が周産期医療に与える影響』

山田崇春 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院小児科

11:10~12:00

口演 C 群 多胎支援の実践例

11:10~12:00

(O-C1) 『A 大学病院における多胎支援実践報告』

堀田真理¹・足木真弓²

1. 藤田医科大学ばんだね病院
2. 藤田医科大学病院

(O-C2) 『地域で行う妊娠期多胎育児支援活動の実践報告—あいち多胎ネットの取り組み—』

松本彩月^{1,2}・日野紗里亜²

1. 金城学院大学人間科学部
2. 一般社団法人あいち多胎ネット

(O-C3) 『沖縄県における多胎育児支援の拡充に関する考察

—多胎育児支援活動者のライフヒストリーを通して—』

松本彩月 金城学院大学人間科学部

12:00～13:00 昼休憩・幹事会

13:00～13:30 総会 (Room 1)

13:30～14:20 大会記念講演 (Room 1)

14:40～15:30

口演 E 群 コロナ禍の多胎支援

(O-E1) 『コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告』

佐々木裕子¹・長谷川和子¹・鈴木朋子¹・場家美沙紀¹・山内亮子¹・太田ひろみ²

1. 杏林大学保健学部・多摩多胎ネット
2. 多摩多胎ネット

(O-E2;査読報告) 『コロナ禍における出産後の多胎支援教室の課題』

藤井美穂子¹・石田弘子²・大石真弓¹・上松恵子¹・段ノ上秀雄¹・西公子³・西嶋佑佳³

1. 和洋女子大学看護学部看護学科
2. 日本赤十字看護大学大学院
3. 市川市ダブルスマイル

15:50～16:50

特別シンポジウム 学会調査報告

(SP2-1) 『新型コロナ禍のみつご子育て状況—2020年度学会アンケートから』

安藤寿康¹・布施晴美^{2,3}・糸井川誠子^{3,4}・天羽千恵子^{3,5}・藤澤啓子¹・山形伸二⁶

1. 慶應義塾大学文学部
2. 十文字学園女子大学教育人文学部
3. 一般社団法人日本多胎支援協会
4. NPO 法人ぎふ多胎ネット
5. ひょうご多胎ネット

6. 名古屋大学教育学部

(SP2-2) 『コロナ禍のふたごの子育て・ふたごの育ち

—新型コロナ禍のふたご子育て状況調査からの示唆—』

玉木譲¹・井ノ川早笑¹・畑美南¹・李知韻¹・須田遼英¹・Brough Faye¹・小島亮介¹・藤澤啓子²

1. 慶應義塾大学文学部教育学専攻
2. 慶應義塾大学文学部

【 Room 3 】

10:00~10:50

招待ワークショップ1 (岐阜聖徳学園大学後援) 双胎間輸血症候群 (TTTS) 類縁疾患

(W1-1) "The TAPS Support Foundation: A New Approach To Twin Advocacy."

Stephanie Ernst The TAPS Support Foundation, Netherlands

(W1-2) 『双胎の羊水量不均衡 (TAFD) と一児発育不全 (selective IUGR) の診断と妊娠管理』

小澤克典 国立成育医療研究センター

11:10~12:00

招待ワークショップ2 (岐阜聖徳学園大学後援) 多胎児の発達

(W2-1) 『4D超音波を用いた双胎児中枢神経系の機能評価』

新田絵美子¹・金西賢治¹・秦利之^{1,2}

1. 香川大学医学部母子科学講座周産期学婦人科学
2. 三宅医院

(W2-2) "Classroom Placement of Multiples within the School."

Monica Rankin, J Susan Griffith, Carolyn Lister

国際多胎支援組織協議会 (International Council of Multiple Birth Organizations)

12:00~13:00 昼休憩・幹事会

13:00~13:30 総会 (Room 1)

13:30~14:20 大会記念講演 (Room 1)

14:40~15:30

教育講演2 多胎の周産期喪失 (Twin Loss)

(E2-1) "Loss of a baby from a multiple pregnancy: The Butterfly project."

Nicholas Embleton

Newcastle University & Newcastle Hospitals NHS Trust, United Kingdom

15:50~16:50

教育講演4 双胎貧血多血症 (TAPS)

※スライドに医療系の画像が使用されています。苦手な方はご注意ください。

(E4-1) "Management and outcome in Twins Anemia Polycythemia Sequence."

Enrico Lopriore and Jeanine van Klink

1. Department of Pediatrics, Leiden University Medical Center, Netherlands
2. Department of Pediatrics, Medical psychology, Willem Alexander Children's Hospital, Leiden University Medical Center, Netherlands

(E4-2) Long-term neurodevelopmental outcome Twin Anemia Polycythemia Sequence.

Dr. Jeanine van Klink

Department of Pediatrics, Medical psychology, Willem Alexander Children's Hospital, Leiden University Medical Center, Netherlands

【 全セッション終了後 Room 1 】

16:50~17:00

閉会の挨拶

大会長挨拶および次年度大会長挨拶

※本年度は懇親会は開催いたしません。

※※※ 各報告における時間配分 ※※※

- ・ 特別招待口演 演者紹介；3分、口演；20分、質疑；6分
- ・ 口演セッション 口演；12分、質疑；4分、交代・準備の時間；演者間1分
- ・ ワークショップ 講演；20分、質疑；4分、交代・準備の時間；演者間1分
- ・ 教育講演 講演；10分～35分（講師により異なる）、質疑；2～5分
- ・ 大会記念講演 演者紹介；2分、講演；40分、質疑；7分

<第36回学術講演会準備委員会 / 大会運営事務局>

松葉敬文（大会長、岐阜聖徳学園大学経済情報学部）、蔵研也（岐阜聖徳学園大学外国語学部）、熊沢秀哉（岐阜聖徳学園大学外国語学部）、

※ 大会運営事務局補助；松本彩月（金城学院大学人間科学部）、江口廣晃（学校法人聖徳学園）

※ Special thanks to Stephanie Ernst (the founder of TAPS foundation)

II. 幹事会報告

日本双生児研究学会 2021 年第 3 回幹事会が開催されました。

(議事録)

日 時：2021 年 11 月 11 日 (木) から 11 月 15 日 (月)

場 所：書面付議

出席者：五十音順 敬称略

安藤寿行、糸井川誠子、加藤則子、志村恵、菅原ますみ、本多智佳、廣瀬英子、福島昌子、
布施晴美、横山美江、渡邊幹夫 計 11 名

(協議事項)

1. 編集委員会規程について

原案通り、「日本双生児研究学会編集委員会規程」を承認した。

III. 日本双生児研究学会編集委員会規程について

日本双生児研究学会編集委員会規程が改訂されました。ご報告いたします。

日本双生児研究学会編集委員会規程

2021 年 11 月 15 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規程は、日本双生児研究学会に学会誌（『双生児研究』(Japanese Journal of Twin Studies)）（以下「学会誌」）を編集する編集委員会を設置することに関し、必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 編集委員会は、学会誌の編集及び発行に関する作業を行うことを目的とする。

(業務)

第 3 条 編集委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学会誌の原稿募集に関すること。
- (2) 学会誌の審査・採択に関すること。
- (3) 学会誌の編集作業に関すること。
- (4) 学会誌の公表に関すること。
- (5) その他、学会誌に関すること。

(委員)

第 4 条 編集委員会に次の委員を置く。

- (1) 編集委員長
- (2) 編集委員
- (3) 編集委員会会計
- (4) その他、編集委員長が必要と認める者

(編集委員及び編集委員長)

- 第5条 編集委員は、日本双生児研究学会幹事会が指名する。
2. 編集委員長及び編集委員会会計は、編集委員の互選による。

(雑則)

第6条 この規程に定めるものの他、学会誌の編集及び発行に関し、投稿規程等必要な事項は、日本双生児研究学会幹事会が別に定める。

第7条 この規程の改定等は、日本双生児研究学会幹事会が行う。

附則 この規程は、2021年11月15日から施行する。

V. 学会事務局よりお知らせ

2022年の会費振り込み用紙を同封していますので、お振込みをよろしくお願ひ申し上げます。未納年がある場合は複数年分の金額を記載しております。本会の会計年度は1月～12月になります。

<日本双生児研究学会 会員用メーリングリストについて>

当学会事業のお知らせと、会員間の情報交換や交流にもご活用いただきたく、2017年度より会員用新メーリングリスト (jstsm1@googlegroups.com 以下 ML) にご登録いただいております。ご協力をありがとうございました。

登録がお済みでない方は、下記の手順に従いご登録くださいますようお願いいたします。

◎現会員の登録について

学会 HP の【お問い合わせフォーム】 (<https://jsts.jp.net/contact/>) から、「区分」は「その他」を選び、「お問い合わせ内容」に「ML 登録希望」として、①お名前、②メールアドレス、③所属等の3点をお知らせください。追って担当者より「ML 登録完了」のご連絡をいたします。

◎新入会員の登録について

新入会員については、「ML 非登録」のお申し出がない限り入会申込と共に ML に登録しますので、連絡は不要です。ご入会後に担当者より「ML 登録完了」のご連絡をいたします。

◎配信の停止・変更

配信の一時停止・再開やメールアドレスの変更などについても、上記【お問い合わせフォーム】からお知らせください。

◎利用上の注意

- ・ ML での発信・返信は、「送信者名」、「アドレス」、「本文」が ML 登録会員全体で共有されます。特に返信の場合はご注意ください。
- ・ 添付ファイルを制限していませんので、コンピュータウイルスに対しては各自で防衛してください。
- ・ jstsm1@googlegroups.com からのメールを受信できるように設定していただければ、携帯アドレスでの登録も可能ですが、添付ファイルの容量制限等もありますので、PC アドレスでの登録をお勧めします。
- ・ 大学や職場のドメインを含むアドレスの場合、ウェブ投稿機能がドメイン管理者により無効にされていることがあります。ご自身の投稿が反映されない場合には、ドメイン管理者にご確認の上、別アドレスへの変更等をご検討ください。



編集後記



新型コロナウイルスへの感染拡大防止策として、2021年は都道府県に3度の緊急事態宣言が出され、昨年度に引き続き、多くの子どもや大人たちが予期せぬ事態に直面してまいりました。その中で、今年度に岐阜聖徳学園大学で開催される予定でした第36回学術講演会が、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が流行りだしたことにより、残念ながら急きょオンラインでの開催に変更となりました。当初は対面で学会員の皆様にお会いできると楽しみにしておりました。それだけに大変残念に思いますが、今回は松葉大会長の下で、海外からの講演者も多くご参加くださり、大変充実した学術講演会になる模様です。多数ご参加いただけますと幸いです。

これまでの会員のみなさまのご協力に感謝しますとともに、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

編集委員：福島昌子（福井大学）・廣瀬英子（上智大学）